

長崎県立松浦高等学校について

■ 学校の概要

長崎県立松浦高等学校は、長崎県北部松浦市内にある唯一の高校であり、普通科（2学級）、商業科（1学級）を設置しています。「松高アイデンティティ ～支えあい、伸ばしあう ふるさと松浦とともにある学舎～」をキャッチフレーズとし、変化の激しい時代を生き抜いていく力とふるさとに貢献する意欲と力を持った人材を育成する学校を目指しています。

■ 学校の教育の特色について

松浦高等学校では、平成29年度より、松浦市と協働して、地域課題の解決策について調査・考察・発表を行う地域課題解決型学習「まつナビ」を開始しました。また、令和2年度には、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の委託を受けて、「まつナビ」を進化・深化させ、高校3年間を通じた地域課題探究活動「まつナビ・プロジェクト（MNP）」を開始しました。

「まつナビ」では、「空き家を利用して便利で賑やかな町にしよう」、「タータン×松浦の魅力」、「農業っていいね！」等様々なテーマを生徒自身で設定し、校外で課題研究を実施しています。制服に採用されている「松浦タータンチェック」を用いた商品開発、販売活動等を行ったり、松浦市の市議会議場において施策検討に向けた成果発表を行ったりもしています。

松浦高等学校では、「自分の将来」について考え、決断する「キャリアプランニング」も重視しており、普通科目において基礎学力も養成するとともに、「課題発見力」、「論理的思考力」、「コミュニケーション力」を伸ばすことで、国立大学、私立大学、専門学校等、生徒のキャリアプランに応じた進学も実現しています。

■ 今後の取組の方向性

松浦高校では、令和4年度から新しい普通科として「地域科学科」を設置します。これは、学びを「深」める、力を「伸」ばす、「進」路実現を図る「シン化」した普通科として、これまでの普通科における学びを継承・発展させつつ、「科学的・実践的な学び」に重点的に取り組む新しい学科です。

地域科学科は、「まつナビ・プロジェクト」を学校設定教科として設置するとともに、総合的な探究の時間と普通科目におけるキャリアプランニングに応じた学びを進めることで、地域課題や地域が有する魅力と自分との関わりについて領域横断的に学習し、生徒一人一人の進路希望実現を目指します。



【基礎情報】

<松浦市について>

- ・人口：22,137人（令和3年1月1日時点）
- ・隣接する自治体：長崎県佐世保市、平戸市、佐賀県伊万里市、唐津市

<松浦高校について（令和3年12月1日時点）>

- ・学科：普通科2学級、商業科1学級
- ・生徒数：1年生 普通科57名、商業科28名
2年生 普通科59名、商業科35名
3年生 普通科42名、商業科16名

在校生へのインタビュー

■ なぜ、この学校を選びましたか？

私が松浦高校を志望した理由は、少人数授業で自分の夢をかなえられる点が自分に合っていると感じたからです。少人数での授業により先生と生徒の距離も近いことから理解をより深めることができると知り、大学に進学し、将来の夢を実現させるという私の目標をかなえられると思いました。また、地元の学校に進学することで通学時間を短縮することができ、放課後も十分な学習時間や趣味の時間など有意義に活用できると考えました。私は、授業でわからないことがあれば放課後を活用して質問に積極的に行き、検定試験に合格するための学習も進んで行いたいと思っています。小学校・中学校の総合の時間で取り組んだ地域学習で学んだことを「まつナビ・プロジェクト」に生かし、私の地元である松浦市をもっとよりよくするための方法を仲間と一緒に考え、実行していきたいです。

■ 普段の学校生活の様子はどのようなものでしょうか？

日々の授業では、課題を友達と一緒に考え、一つ一つできることを増やしていくということを第一に頑張っています。授業ではタブレットを活用した授業が多く、楽しく理解を深めることができている。わからないことがあった時には、友達に聞いたり、先生に質問に行ったりするなどして解決しています。定期考査前には、放課後学校に残って先生に質問しながら、友達と一緒に勉強に励んでいます。松浦高校では、授業＋αで補習があるので積極的に参加し、発展的な学習や模試対策などにも取り組んでいます。「まつナビ・プロジェクト」では、「子ども」をテーマに教育について研究しています。松浦の子どもたちにたくさんのわくわく・どきどきを味わってもらえる子ども中心のイベントを開催し、松浦で子育てしたいと思ってもらえるように、班のみんなと協力して実現に向けて頑張っています。休み時間や昼休みは、友達と話すなど、友達と一緒に行動することが多いのですが、小テストがあるときには小テストの勉強をしたり、その日の課題をしたりなど隙間時間を活用することもあります。私は生徒会の執行部としても活動しているので、昼休みは集合があり忙しいことが多いのですが、責任をもって頑張っています。部活動は、茶道部に所属し部長をしています。週に1回と少ないですが、礼儀作法や伝統文化を学ぶことができる良い時間になっています。私は、勉強と生徒会、まつナビなど忙しい日々を送っていますが、毎日楽しく、充実した日々を送ることができています。

■ 学校の好きなおとこ、通ってよかったと思うところは何ですか？

松浦高校では、より理解が深まる少人数授業で大学進学に向けた学習ができるおとこ、「まつナビ・プロジェクト」で地域学習をより深くできるおとこなどたくさんの魅力があります。特に、まつナビでは様々なテーマに分かれいろいろな視点から自分の地元である松浦市を進化させるための方法を考えることができます。私のように将来「教育」にかかわりたいと考えている生徒が松浦市の子どもたちや教育について考えるなど自分の将来の夢についてより深く知り、考え、一歩近づける良い機会だと思っています。「まつナビ・プロジェクト」は私の班だけでなくほかの班のみんなも松浦市をさらに進化させたいものにしようとするおとこの意見を出し、実際に行動に移しています。この活動は松浦高校の生徒全員で取り組んでいます。学校の先生はもちろん、市役所の方や事業所・地域の方々さらに長崎大学の先生や学生のおみなさんにも協力していただいています。高校ではなかなかできない、大学で実践していく学びをたくさんの方々に支援していただきながら活動することができるのは、松浦高校だけだと思っています。また、松浦市からの手厚い補助があり、模試代や補習費、英検や漢検などの検定料が安くなり、経済面でもとても良いと思います。部活動では、なぎなた部は全国3位、陸上部は全国大会出場と部活動も一生懸命頑張っている学校です。このように、私は、たくさんの方にかかわることができ、地域の方々にもたくさん協力してもらい充実した高校生活を送ることができる松浦高校を選んでよかったと思っています。また、自分の将来の目標の実現に向けての学習ができることは松浦高校の魅力だと思います。



Profile

井元 紗羽さん

長崎県立松浦高等学校 2年生

好きな科目は化学・古典です。子どもたちに信頼してもらえる教員になることが私の将来の夢です。松浦高校では、何事にも積極的にチャレンジしています。

卒業生へのインタビュー

■ 今の進路を選んだ理由は何ですか？

私は現在、長崎県立大学地域創造学部実践経済学科に所属し、日々の多様な授業を通して経済についての学びを深めています。私が本学を志望したきっかけは、高校時代に総合的な学習の時間で学んだ「まつナビ・プロジェクト」です。この活動は、松浦市役所各課の皆さんと、学習したいプロジェクトに分かれて市を活性化させるにはどうすれば良いかを考える活動です。その中で私は、松浦市にはプラスチック加工メーカーである中興化成工業や、新幹線の部品を製造されている近江鍛工など、世界的な企業があることを初めて知りました。その他、これまで多くの時間を過ごしてきた松浦市のことをあまりにも知らないことにショックを受けました。そこで私は、地元の企業や経済についてしっかりと学び、将来はその知識を生かして地元を活性化したいと思いました。また、私が所属している実践経済学科では、『地域経済関連分野』や『企業経済関連分野』の科目で地域活性化について学ぶことができるため、私の将来の夢を叶えるために最も適した進路であると思い、本学科を志望しました。

■ この学校で学んだことは、どのように今の自分に役に立っていますか？

「まつナビ・プロジェクト」で身につけた課題解決能力が、大学で取り組んだ「長崎のしまに学ぶ」という講義科目で大いに役に立ったと感じます。この講義科目は「しまフィールドワーク」という演習科目と合わせて「しまナビ」プログラムと呼ばれ、長崎県の離島が抱える課題の解決策や対応策を考える取り組みです。残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で演習科目を行うことは出来ませんでした。しかし、毎回の講義で各離島に関する動画を視聴し、自分が選択した離島の振興策を考えました。私は、離島の課題とその原因や振興策に取り組む上で気を付けなければならないことは何かなどを順序立てて丁寧に考えることができました。また、よりよい振興策にするために選択した離島の市役所職員の方と連絡を取り、様々な情報や画像を提供して頂きました。今回、私がスムーズに振興策を考えることができたのは、高校時代に「まつナビ・プロジェクト」で課題解決能力の基礎基本を身に付けることができたからだと思います。

■ 高校で体験したことで、印象的な出来事や経験は何ですか？

私は「まつナビ・プロジェクト」で松浦市の「子育て支援策」をより多くの人たちに知ってもらうためにはどうすれば良いかについて考えました。その際に以下のような取り組みをしました。まずはじめに、松浦市の子育て支援策についての認知度を調査するために保育園の保護者や子育て広場「URACCO」を利用される保護者の方々にアンケート調査を行いました。次に、そのアンケート結果を自分たちの力で分析し、松浦市の子育て支援策の認知度は100%ではないことを知りました。そこで、認知度を上げるPR方法について班員全員で考えたところ、静止画よりも印象に残りやすいと思われるPR動画を作成することに決めました。PR動画は、どのくらいの長さが最適か、どうすれば見やすくなるかを考えながら作成しました。そして、私の班の発表は投票により第5位という結果を修めることができたため、松浦市議会でも再度発表することができました。私は、松浦市の活性化のために一生懸命考えた解決策を発表するという貴重な経験ができてとても良かったです。この経験が「まつナビ・プロジェクト」での印象的な出来事です。



Profile

宮崎 帆乃花さん

長崎県立大学地域創造学部実践経済学科
1年生
(長崎県立松浦高等学校卒業)

私は「地域経済」や「企業経済」分野に興味があります。将来は、地元（長崎県や松浦市）の活性化に協力できるような職業に携わりたいと考えています。